

平成27年3月23日

三鷹市議会議長 伊藤俊明様

特別委員長 伊東光則

調布基地跡地利用対策特別委員会
活動経過報告書

本委員会は、平成23年第2回定例会において、「調布基地跡地の利用促進について積極的な対策を講ずること」を目的として設置され、以来約4年間にわたり活動が続けてまいりましたので、その活動経過を下記のとおり報告いたします。

記

○ 委員会開会月日とその概要について

1 平成23年6月15日

- ・「調布基地跡地の利用促進について積極的な対策を講ずること」を目的として設置
- ・正副委員長互選の結果
委員長 伊東光則
副委員長 土屋健一を互選

2 平成23年6月22日

- ・調布基地跡地利用計画の経過について
- ・調布基地跡地利用の整備状況について
- ・株式会社東京スタジアムの経営状況等について
- ・東京都調布飛行場の離着陸状況について
- ・味の素スタジアム輸送人員について

3 平成23年9月27日

- ・平成23年度調布飛行場まつりに係る行事について
- ・調布飛行場まつりについて
- ・第68回国民体育大会・第13回全国障害者スポーツ大会開・閉会式会場整備基本計画の概要について

- ・東京都調布飛行場の離着陸状況について
- ・味の素スタジアム輸送人員について

※ 平成23年度調布飛行場まつりに係る行事については、各委員からの意見を付しておおむね了承

4 平成23年10月11日

- ・調布飛行場における小型航空機の事故等について

5 平成23年12月14日

- ・武蔵野の森総合スポーツ施設の管理運営について
- ・第16回調布飛行場まつりの実施結果について
- ・東京都調布飛行場の離着陸状況について
- ・味の素スタジアム輸送人員について

6 平成24年3月23日

- ・味の素スタジアム西競技場の施設概要等について
- ・東京都調布飛行場の離着陸状況について
- ・東京都調布飛行場、都市計画道路3・4・19号及び味の素スタジアムを現地視察

7 平成24年6月21日

- ・就航率の向上について
- ・三宅島航空路線について
- ・調布基地跡地土地利用計画の一部変更について
- ・スポーツ祭東京2013三鷹市開催総合実施計画書の概要について
- ・株式会社東京スタジアムの経営状況等について
- ・東京都調布飛行場の離着陸状況について
- ・味の素スタジアム輸送人員について

8 平成24年8月24日

- ・都の取組内容（案）について
- ・調布基地跡地の土地利用計画について

9 平成24年9月24日

- ・就航率の向上について
- ・三宅島航空路線について

- ・調布基地跡地の土地利用計画について
 - ・平成24年度調布飛行場まつりに係る行事について
 - ・調布飛行場まつりについて
 - ・東京都調布飛行場の離着陸状況について
 - ・味の素スタジアム輸送人員について
- ※ 就航率の向上について、三宅島航空路線について、調布基地跡地の土地利用計画について、平成24年度調布飛行場まつりに係る行事については、いずれも各委員からの意見を付しておおむね了承

10 平成24年12月14日

- ・調布飛行場の就航率向上及び三宅島航空路線開設について
- ・調布基地跡地の土地利用計画について
- ・第17回調布飛行場まつりの実施結果について
- ・東京都調布飛行場の離着陸状況について
- ・味の素スタジアム輸送人員について

11 平成25年3月22日

- ・第7回調布基地関連事業推進協議会関係について
- ・調布飛行場新ターミナルの供用開始について
- ・調布飛行場における航空機事故調査報告等について
- ・市道第800号線について
- ・東京都調布飛行場の離着陸状況について

12 平成25年4月22日

- ・調布飛行場新ターミナル及び市道第800号線を現地視察

13 平成25年6月19日

- ・新たな機種調布飛行場の使用について（6機種）
 - ・調布飛行場における計器飛行方式の導入について
 - ・武蔵野の森総合スポーツ施設（仮称）の実施設計について
 - ・株式会社東京スタジアムの経営状況等について
 - ・スポーツ祭東京2013の日程等について
 - ・スポーツ祭東京2013の開・閉会式について
 - ・東京都調布飛行場の離着陸状況について
 - ・味の素スタジアム輸送人員について
- ※ 新たな機種調布飛行場の使用について（6機種）は、各委員からの意見を

付しておおむね了承

14 平成25年9月24日

- ・平成25年度調布飛行場まつりに係る行事について
- ・調布飛行場まつりについて
- ・東京都調布飛行場の離着陸状況について
- ・味の素スタジアム輸送人員について

※ 平成25年度調布飛行場まつりに係る行事については、各委員からの意見を付しておおむね了承

15 平成25年11月5日

- ・第18回調布飛行場まつりの開催中止について
- ・武蔵野の森総合スポーツ施設（仮称）入札経過調書について

16 平成25年12月13日

- ・新川防災公園・多機能複合施設（仮称）整備に伴う掘削土の一部保管について
- ・味の素スタジアムにおけるネーミングライツ契約の更新について
- ・東京都調布飛行場離着陸状況について
- ・味の素スタジアム輸送人員について

17 平成26年3月24日

- ・調布～三宅島間の新規航空路線開設について
- ・調布飛行場を使用する新たな機種 of 航空機の確認方法について
- ・東京都調布飛行場の離着陸状況について

18 平成26年6月24日

- ・既登録機種と同一型式の航空機の調布飛行場の使用について
- ・株式会社東京スタジアムの経営状況等について
- ・東京都調布飛行場の離着陸状況について
- ・味の素スタジアム輸送人員について

19 平成26年9月24日

- ・平成26年度調布飛行場まつりに係る行事について
- ・第19回「調布飛行場まつり」開催概要（案）について
- ・東京都調布飛行場の離着陸状況について
- ・味の素スタジアム輸送人員について

※ 平成26年度調布飛行場まつりに係る行事については、各委員からの意見を付しておおむね了承

20 平成26年12月15日

- ・ 東京都調布飛行場における胴体着陸について
- ・ 第19回調布飛行場まつりの実施結果について
- ・ 既登録機種と同一型式の航空機の調布飛行場の使用について
- ・ 野川大沢調節池の規模拡大への協力について
- ・ 東京都調布飛行場の離着陸状況について
- ・ 味の素スタジアム輸送人員について

21 平成27年3月17日

- ・ 野川大沢調節池の規模拡大に係る要望について（回答）
- ・ 東京都調布飛行場の離着陸状況について

○ 活動経過の概要と現況について

本委員会はその設置された目的に基づき、調布基地跡地の活用と安全性の確保について調査を行うとともに、本市と東京都との覚書に基づく協議事項について市長に意見を申し述べてきたところである。

本委員会の活動期間における調布基地跡地関連の主な動きは次のとおりである。

- ・ 平成23年10月 調布飛行場において小型航空機の着陸時事故発生
- ・ 平成24年4月 味の素スタジアム西競技場開設
- ・ 平成24年5月 東京都より調布飛行場の就航率向上、三宅島航空路線開設及び調布基地跡地土地利用計画の一部変更に係る協議の申し入れ
- ・ 平成24年9月 東京都による調布飛行場の運用等に係る住民説明会開催
- ・ 平成24年12月 調布飛行場の就航率向上、三宅島航空路線開設及び調布基地跡地土地利用計画の一部変更について、調布基地跡地関連事業推進協議会（以下、「四者協」という。）で合意
三鷹都市計画道路3・4・19号（調布基地跡地道路2号線）全線開通
- ・ 平成25年3月 三鷹都市計画道路3・4・19号（調布基地跡地道路2号線）、市道第800号線として移管
- ・ 平成25年4月 調布飛行場新ターミナルの供用開始
- ・ 平成25年6月 調布飛行場において計器飛行方式の一部導入

- ・平成25年 9 月 スポーツ祭東京2013開催
- ・平成25年10月 台風26号に伴う影響により第18回調布飛行場まつりの開催中止
- ・平成25年12月 株式会社東京スタジアムと味の素株式会社がネーミングライツ契約を更新
- ・平成26年 4 月 調布―三宅島間の新規航空路線開設
- ・平成26年 8 月 味の素スタジアム及び同西競技場において平成26年度全国高等学校総合体育大会開催
- ・平成26年10月 調布飛行場において小型航空機の胴体着陸事故発生
三鷹市、府中市、調布市（以下、「地元3市」という。）の市長連名による要請書を東京都宛てに提出
東京都より野川大沢調節池の規模拡大に向けた協力依頼

このように本委員会の活動してきたこの4年間は、調布飛行場において計器飛行方式の導入等による就航率の向上の取り組みが推進された一方、2度の小型航空機の着陸事故等に伴う安全面における課題が示され、本委員会でも多くの議論が交わされたところである。

こうした経過を踏まえ、今後における調布基地跡地の利用促進と安全性の確保の観点から本委員会は次の点を指摘しておく。

1 調布飛行場における計器飛行方式の導入について

調布飛行場において、離島航空路線の就航率向上は長年の懸案事項であり、計器飛行方式の導入がかねてから検討されてきた。

平成23年7月、島嶼地域と調布飛行場を結ぶ航空路線の就航率向上に係る要望書が大島町、新島村及び神津島村の町村長連名で東京都港湾局長宛てに提出されたことなどを受け、平成24年5月に開催された調布飛行場諸課題検討協議会において、中断されていた計器飛行方式の導入に係る協議が再開された。同時に、同月には大島町、新島村及び神津島村の町村長が本市を訪問し、調布飛行場の就航率向上に関する要望書を市長宛てに提出するとともに、8月には同町村議長が本市議会を訪問し、調布飛行場の就航率向上に関する要望を議長宛てに提出した。

9月に開催された本委員会において、東京都が周辺住民に対する説明会を実施し、その中で示された安全・騒音対策等については一定の評価ができるものであったとの市側の説明を踏まえ、十分に協議を重ね、計器飛行方式の一部導入を了承したところである。

これらの経過の後、平成24年12月、東京都と地元3市から成る四者協での合意を経て、平成25年6月、調布飛行場における計器飛行方式が定期航空路線に就航する航空機に限る等の条件つきで一部導入された。これにより、台風、積雪等の

特異な気象状態を除き、雨天時等においても運航が可能となり、調布飛行場と大島等を結ぶ定期航空路の就航率は向上している。

計器飛行方式の導入に当たり東京都の取り組み内容として示された安全対策、騒音対策及び離着陸回数削減の取り組みについては一定評価ができるものであり、引き続き安全面等に十分配慮した運航に努めるよう東京都に働きかけられたい。

2 調布―三宅島航空路線の開設について

平成23年7月、全日本空輸株式会社は、当時羽田―三宅島間で運航していたDH8Q300の機体の老朽化に伴い平成24年度末での退役を表明した。そのため、東京都は、同路線継続に向けた取り組みを進めてきたが、三宅島空港、羽田空港双方の滑走路長及び進入速度の条件を満たす機種が存在しないことから、羽田空港を使用した運航の継続を断念し、平成24年5月に四者協の幹事会において新たに調布―三宅島間を結ぶ定期航空路線の開設を地元3市に対する協議事項として提案した。

本委員会においても十分に協議を重ねた上で、当該航空路線は、島嶼部の住民の生活の安定に欠かせない公共交通アクセスであり、離発着回数についても東京都調布離着陸場の整備及び管理運営に関する協定書において定められた2万3,000回を超えるものではないことから、9月の本委員会において調布―三宅島航空路線開設を了承したところである。

これらの経過の後、四者協での合意を経て、平成26年4月より、運航が開始された。

引き続き、運航の継続に当たり、調布飛行場の使用における一層の安全対策、騒音対策、離着陸回数削減の取り組みについて、その厳格な運用を求めるとともに運用結果等についての適時的確な情報提供に努めるよう東京都に働きかけられたい。

3 武蔵野の森総合スポーツ施設の整備及び周辺道路の整備について

平成9年8月に財政難を理由に凍結されていた調布基地跡地西側都有地における施設整備である5館構想（メインアリーナ、サブアリーナ、武道館、アイスアリーナ、屋内水泳場）は、東京都から平成19年7月に「スポーツ祭東京2013」（第68回国民体育大会・第13回全国障害者スポーツ大会）に向けて見直しの意向が示され、平成21年4月に策定された武蔵野の森総合スポーツ施設基本構想では、陸上競技に必要な補助競技場等のほか、メインアリーナやサブアリーナ、屋内プール等の整備計画が示された。

平成24年4月の味の素スタジアム西競技場の開設を経て、平成25年9月には味の素スタジアムでの開会式を初めとするスポーツ祭東京2013が開催され、同スポ

一ツ祭閉会后に、その他の施設についても工事着工した。現在、平成28年度中の竣工予定に向けて工事が進められているところである。

今後、当該施設は、第32回オリンピック競技大会及び第16回パラリンピック競技大会の会場の1つとなることが想定されていることなどから、現在施工中であるアリーナ等について、計画の着実な実行を進めることに努めるよう東京都に働きかけられたい。あわせて、調布基地跡地の歴史的経緯を踏まえ、市理事者においては当該施設における地元3市の優先的利用の確保等に配慮するよう東京都に要望されたい。

また、平成24年12月、三鷹都市計画道路3・4・19号（調布基地跡地道路2号線）が供用開始されたことなどによる周辺環境の整備についても一定の評価をするところであるが、第32回オリンピック競技大会及び第16回パラリンピック競技大会の開催に際しては、交通渋滞や違法駐車等の交通問題の発生も懸念されることから、交通環境の向上に向けた一層の取り組みについても重ねて東京都へ要望されたい。

4 調布飛行場の運用に係る安全性の向上について

平成23年6月に本委員会が設置されてから、調布飛行場においては同年と平成26年の2度、民間航空機による着陸時事故が発生している。幸いなことに、いずれの場合においても死者、負傷者等が出なかったものの、一步間違えれば大惨事にもつながりかねないものであった。

あわせて、平成23年の事故においては第16回調布飛行場まつりの体験搭乗が中止になるなど、他方面への影響も見られたところであり、平成26年の事故の際には地元3市への情報提供のあり方について、課題点が明らかとなった。

こうした航空機事故を受けて、東京都と地元3市の間における情報共有のあり方の見直し及び緊急時訓練等を実施することとした点については一定の評価ができるところであるが、航空機事故に係る対策に当たっては、原因の調査・究明及び航空機の所有者への指導等による再発防止策を講ずるとともに、有事の際には迅速かつ適切な対応を東京都へ要望されたい。

5 野川大沢調節池の整備について

野川では、これまで1時間50ミリメートル程度の降雨に対応できるよう総合的な治水対策が進められてきた。野川大沢調節池は平成13年度、その一環として洪水の一部を貯留するために整備されたものであり、本市では、当該調節池の池底部分を東京都から占有許可を受け、テニスコート、サッカー兼ラグビー場、野球場、ソフトボール場、練習場等として供用してきたところである。

これに対し、昨今のゲリラ豪雨等の発生を受け、野川流域における目標整備水

準を1時間50ミリ降雨から65ミリ降雨に引き上げることに伴い、貯留量を既存の9万立方メートルから約16万立方メートルへと規模を拡大することについて、平成26年10月、東京都から本市へ協力の依頼があったところである。

野川流域の治水安全度向上という本事業の目的については十分理解するところであるが、現状の流入頻度においてもスポーツ施設としての利用に一部支障を来している状況も見られるところであることから、本市としても施設の改善に取り組むとともに、工事期間中の代替施設の確保等が図られるよう要望しているところであり、今後の動向を注視していく必要がある。

6 株式会社東京スタジアムの経営状況と地域の商業振興について

株式会社東京スタジアムの経営状況は、ネーミングライツ契約の更新やコンサート、Jリーグサッカー等の開催により、比較的良好な状態ではあるものの、FC東京及び東京ヴェルディの成績等により今後の収益の動向が懸念されるところである。

今後は、長期的に安定した施設経営を維持していくためにも、地元市との連携による地域活性化への貢献や、より魅力的な施設となるためのさらなる経営努力を株式会社東京スタジアムへ求められたい。

また、三鷹駅と東京スタジアム間で運行しているシャトルバスについても、利用者の利便性に配慮しながら、より一層のPRに取り組むとともに、関係団体等との連携を図り、本市における商業振興に寄与するよう努められたい。

○ 終わりに

本委員会はその設置された経過と目的を踏まえ、4年間にわたり精力的に検討を重ねてきた。

この4年間は、計器飛行方式の導入による就航率向上や三宅島航空路線の開設に向けた取り組みが図られるとともに、三鷹都市計画道路3・4・19号（調布基地跡地道路2号線）及び調布飛行場新ターミナルの供用開始など、環境整備の推進が図られた一方、調布飛行場における2度にわたる航空機事故の発生など、市民生活に大きな影響や不安を与える事象が起こった時期でもあった。

市理事者においては、これらの経過を踏まえ、調布基地跡地の関連事業の着実な推進と市民生活における安全性の確保に努めるとともに、これまで述べてきた諸問題の解決に全力を傾注されることを期待し、経過報告を終わる。